



小湊綾ニュース

令和7年度1月号

令和8年1月9日発行

下中小学校

校長 大須賀 剛

自分らしく いきいきと 学ぶ子 ～地域や社会の『ひと・もの・こと』との関わりをとおして～

https://www.ed.city.odawara.kanagawa.jp/shimonaka_s

← 下中小学校ホームページURL

小寒の候、学びの芽を育てて ～令和8年(2026年)初頭にあたり～

令和8年(2026年)が幕を開け、新しい一年がスタートしました。暦の上では「小寒」を迎え、寒さがいよいよ本格的になってまいりました。朝の空気は一段と澄みわたり、校庭に立つと、冬の静けさの中に子どもの足音や笑い声が響き、心がふっとあたたかくなります。令和8年が始まり、子どもたちの元気な声が校舎に戻ってきたことに、改めて学校という場の尊さを感じています。

12月から年末年始にかけて、民間企業や自営業のたくさんの方々と話をすることや、自己研鑽としての研修に参加する機会がありました。その中で印象的だったのは、「働きがい」や「やりがい」が企業や社会の中でも大事にされているということ、そしてそれを支える「心理的安全性」のある職場環境の重要性について、多くの方が語っていたことです。この考え方は、学校教育にも深くつながっていると感じています。子どもたちが安心して自分の思いや考えを表現できる環境があることで「学びがい」や「学ぶ楽しさ」が生まれます。そうした環境づくりは、私たち教職員の大事な役割のひとつです。

ここで、私が学校教育のヒントとして大切にしている理論をひとつご紹介します。それが、**心理学者ハーズバーグによる「2因子理論」**です。この理論では、人のやる気には**「動機づけ要因」**と**「衛生要因」**の2つがあるとされています。学級担任の頃はもとより、今の学校運営でも折にふれてこの考え方を意識しています。

衛生要因が整っていないと不満が生まれます

- ・ **動機づけ要因** : 達成感、成長の実感、認められること、やりがい など
- ・ **衛生要因** : 環境の快適さ、人間関係、ルールの明確さ など

ですが、それだけでは意欲は高まりません。一方で、**動機づけ要因**が満たされることで、人は内側から意欲を持って行動するようになります。その際には、衛生要因と動機づけ要因の両軸やバランスを意識することが重要です。この考え方を学校教育に置き換えると、子どもが「やってみたい」「なんでだろう?」と感じるような学びの場をつくるのが、まさに**動機づけ要因**を育てることにつながります。知的好奇心が広がるような問いかけ、自分の考えを表現できる活動、仲間と関わりながら考えを深める経験など、**本校のグランドデザインに記している「主体的」「対話」「尊重」「自分ごと」**は、これからの時代にますます求められているのです。



本校では、日々の授業や行事の中で、子どもたちの「なぜ?」「どうして?」という気持ちを大事にしながら、学びの楽しさや達成感を味わえるような工夫を重ねることに努めています。例えば、総合的な学習の時間では、地域の自然や歴史に触れながら、自分たちで課題を見つけ、調べ、発表することや、活動の振り返りなどを通して自らの成長や価値を実感していきます。また、校内研究で取り組んでいる国語科の授業においても、子どもたちの思いや疑問に寄り添いながら、ことばを通して自分の考えを深めたり、友達と考えを伝え合ったりする学びを大事にしています。国語という教科の特性上、「主体的に学ぶ」ことは一見難しく感じられるかもしれませんが、「自分の思いを伝えてみたい」「友達の考えを聞いてみたい」といった気持ちを育てていくことは、まさにその第一歩だと考えています。

これからも、下中小学校教職員一同、子ども一人一人の思いや学びの芽を大事にしながら、日々の教育活動を丁寧に進めてまいります。本年もどうぞよろしくお願い致します。

学習や生活の様子から

全校児童 ひまわり班遊び <下中集会>

12月5日（金）、全校児童が体育館に集まり、「ひまわり班遊び（下中集会）」が開催されました。1～6年生の縦割り班で行うこの活動は、5・6年生が中心となって準備を進めてきた児童会行事です。今回は初めて全班が一堂に会しての開催となり、「みんなで楽しみたい」という上級生の思いが形になりました。メディシングボールや班対抗クイズを通して、異学年での交流が深まり、協力する力や思いやりの心が育まれる心温まる時間となりました。



4年生 校外学習 ～防災と科学を学ぶ～

12月9日（火）、4年生が神奈川県総合防災センターと伊勢原市立子ども科学館へ校外学習に出かけました。防災センターでは地震や煙の中の避難、初期消火などを体験し、災害時の備えについて学びました。



科学館ではプラネタリウムを鑑賞し、展示物に触れながら科学の不思議を体感しました。弁当の時間や移動中のレクリエーションでは、友達との関わりも深まり、笑顔があふれていました。

定期的に「下中小学校のホームページ」を更新しています。どうぞご覧になってください。

タブレットやスマホなどからは
こちらをタップでも可能です。⇒ https://www.ed.city.odawara.kanagawa.jp/shimonaka_s



1月～2月上旬頃までの主な予定

1月

9日（金）	給食開始 席書会
13日（火）	あいさつ運動 1月は13日（火）です
14日（水）	芸術鑑賞会・全校児童…午前 クラブ⑥（クラブ見学）…午後
15日（木）	児童代表委員会…6校時
20日（火）	市心理相談員来校…午前
21日（水）	スクールカウンセラー来校…午後
22日（木）	校外学習・3年（中井消防署）
27日（火）	ALSOKあんしん教室・1～2年
28日（水）	新入生保護者説明会…午前
29日（木）	三の丸ホール鑑賞事業・4年…午前

2月

2日（月）	橘中学校新入生説明会・6年
3日（火）	SOSの出し方教室・6年

小田原市民通報アプリ「おだわら忍法」

道路の損傷や公園の遊具の不具合、不法投棄などを見つけたとき、市民通報アプリ「おだわら忍報（にんぼう）」を使って、写真や位置情報を添えて簡単に通報できます。アプリはスマホ等のアプリストアで、「おだわら忍法」（検索）でも見つかります。



過日行われた「交通安全対策協議会」でも、市の方からその有用性の話もありました。保護者や地域の皆さまも地域安全の一助として、ご活用いただければと思います。

4日（水）	クラブ⑦
6日（金）	あいさつ運動 PTA運営委員会④